

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC310	科目名	介護総合演習 I	担当者名	戸来 睦雄
授業の概要	実習の教育効果を上げるため、事前に実習施設についての理解を深めるとともに、各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践につなぐ。				
科目の到達目標	他職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解するとともに、サービス担当者会議やケースカンファレンス等を通じて、多職種連携やチームケアを体験的に学ぶ。また、質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法を理解する。				
DPの観点	③柔軟性(10%)⑥専門知識・技能(30%) ⑦思考力(10%) ⑧実践力(30%)⑨主体性(10%)⑩問題解決力(10%)				
授業時間外学修(予習・復習)	授業時間30時間を除く、15時間の授業時間外学習が必要。 「介護実習の手引き」とテキストの習熟。実習に向けた課題の明確化と助言指導。 事前学習・ふりかえりのための学習をすること。				
フィードバックの方法	コミュニケーションカードをもとに、授業の前後で振り返りを行う。				
単位認定の要件	授業内活動やレポート課題等から総合的に判断する。				
評価の方法・割合(%)	授業内活動(40%) コミュニケーションカード(20%) レポート(40%)				
履修上の注意事項	テキストの他、毎時間「介護実習の手引き」を持参すること。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			授業概要の説明、介護総合演習の位置づけ	③⑥	コミュニケーションカード
2			介護総合演習の目的	③⑥	コミュニケーションカード
3			介護実習の意義と目的	③⑥⑧	コミュニケーションカード
4			実習施設の理解、介護実習の種類	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
5			実習前の学びと実習後の学びの活かし方	⑥⑦⑧⑨	コミュニケーションカード
6			本学での実習の意義と目的	⑥⑦⑧⑨	コミュニケーションカード
7			介護実習前の学習の内容と方法	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
8			介護実習中の学習の内容と方法	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
9			介護実習後の学習の内容と方法	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
10			実習に関する書類作成	⑥⑦⑧⑨	コミュニケーションカード
11			実習施設の理解①(グループホーム・特別養護老人ホーム)	⑥⑦⑧⑨	コミュニケーションカード
12			実習施設の理解②(介護老人保健施設・養護老人ホーム)	⑥⑦⑧⑨	コミュニケーションカード
13			実習巡回指導、カンファレンスについて	⑥⑦⑧⑨⑩	コミュニケーションカード
14			実習日誌配布及び書き方について	⑥⑦⑧⑨⑩	コミュニケーションカード
15			実習の心構え:実習に向けた留意点	⑥⑦⑧⑨⑩	コミュニケーションカード
期末試験			レポート		

使用テキスト	『新・介護福祉士養成講座』第10巻「介護総合演習・介護実習」(第2版)(中央法規出版)発行: 荘村明彦 編集: 介護福祉士養成講座編集委員会
参考文献 参考URL	「介護実習指導者テキスト」(改訂2版) 公益社団法人 日本介護福祉士会編
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--